

デジタル地図で森林作業用道路の適地を見える化！

研究の背景と目的

- 森林を効率的かつ適切に管理するために必要な道路整備は、地形改変をとまなうため、土砂災害を招くことがないよう適切な場所選びが必要です
- 特に急峻で複雑な地形が多い岐阜県では、地形を詳しく把握し、災害に強い道路整備の適地を見極めることが重要です
- しかし、これまで道路整備の適地を選定するためには、現地測量による確認が必要であり、現地検討の結果によっては、再検討が発生するケースもあるなど、森林・林業関係の技術者にとって大きな負担となっています

上記の課題を解決するため

最新の道路設計ソフトや地形データなどのデジタル技術を活用し、
災害に強い森林作業用道路の整備適地を高精度で推定可能な地図を開発

研究成果とその効果

■ 研究成果

災害に強い道路整備に役立つ地図



路網整備難易度推定図



土石流災害リスク評価支援図

研究成果の詳細は右の2次元コードまたは下記リンク先の当所ウェブサイトから確認できます



<https://www.forest.rd.pref.gifu.jp/shiyou/santisaigairisk.html>

■ 開発技術の効果

- 災害に強い道路整備と適切な森林管理の推進
- 道路整備にかかる労力やコストの軽減

開発地図を活用した リスク評価手法の解説書



本研究は国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所との共同研究として実施しました